

平成 30 年度 第 2 回 湖南省 産業振興戦略推進会議

議事録

●開催日時 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 10 : 00 ~ 11 : 30

●開催場所 湖南省商工会 2 階研修室

●出席者名

< 委員 >

湖南省商工会 会長 上西 保

湖南省農業振興協議会 会長 小島 孝市

一般社団法人湖南省観光協会 理事 北島 輝人

一般社団法人湖南省観光協会 理事 武村 みゆき

公益社団法人湖南工業団地協会 会長 甲斐切 稔

ジャパニーズ株式会社 中野 龍馬

宇佐美菓子店 A la maison 宇佐美 千恵子

滋賀県立甲西高等学校校長 田邊 雅之

近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室室長 田口 一江

滋賀大学 社会連携研究センター 特任教授 近兼 敏

滋賀県立大学 人間文化学部 准教授 塚本 礼仁

< 事務局 >

建設経済部長 望月 敬吾

建設経済部 産業振興戦略局次長 山元 幸彦

建設経済部 産業振興戦略局 商工観光労政課長 竹内 範行

建設経済部 産業振興戦略局 商工観光労政課長補佐 黄之瀬 敦美

建設経済部 産業振興戦略局 商工観光労政課 伊原 優実

建設経済部 産業振興戦略局 商工観光労政課 寺村 憲人

●会議内容

1、開会

2、あいさつ

湖南省産業振興戦略推進会議 近兼 敏 会長

(事務局)

会議出席委員数は11名。

湖南省産業振興基本条例第18条第2項の規定により、会議成立の報告。

3、報告

第1回推進会議の要点整理 資料3

(事務局)

・地域経済分析システム RESAS をもとに、湖南省の概要や産業構造など、産業振興の現状等について説明させていただいたのちに、3つのテーマについて委員の皆様それぞれの立場から意見を頂戴した。

①産業観光・交流人口について

- ・近年、産業観光への関心が高まっており、中高年層を主体に集客に成功しているケースが見られる。市内の工場において工場見学を行うという案が挙げたが、大手企業の協力が不可欠。工場見学は学生の就労体験の場に繋がればよいのではないかと。
- ・観光産業は裾野の広い産業。市内にお金を落としてもらい仕組みづくりが必要である。
- ・工場見学は、危険な作業を行っている工場もあるが、そのような課題をクリアしていけば湖南省ならではの観光ができるのではないかと。
- ・教育現場でも工業・観光・農業等を学ぶ場を設定していきたい。

②企業の定着について

- ・市内には大手企業の事業所・工場が多々あるが、市外に転出されると湖南省にとっての打撃は大きい。
- ・企業は立地条件の中でも交通網を重要視する。湖南省内は交通網が整備されていないので、それを理由に撤退される企業も過去にあった。
- ・駅周辺や主要道路沿いの規制緩和や、農地の利活用を行っていくことも必要ではないかと。
- ・通過交通型から立ち寄り型への転換が必要。
- ・湖南省と言えばこれ、と言えるものを作らないといけない。
- ・湖南省は近隣からの転入者も多いので、これからも人が増えていく要素はある。

③ 湖南省地域産業の発展

- ・農業従事者は減っており、後継者不足。しかし、農地は農地で守っていかなければならない。
- ・昔は商店街にお店がたくさんあったが、今は全然ない。
- ・「散歩したくなるまち」を目指している。
- ・湖南省は女性が起業できる制度や補助がない。それらの制度等があれば起業のハードルが下がるのではないか。
- ・社内ベンチャーとしての取組ができないか。若い人材が湖南省に行きたくなる、湖南省に行けばこんなことができるんだ、と思えるような仕組み作りができないか。

*全体を通じ、「工場見学」というワードが多く挙がっていた。また、人材確保・人材育成も大事であるという意見も頂戴した。

4、議題

(1) 湖南省産業振興ビジョン策定に向けて

① 湖南省産業振興ビジョンイメージ素案について 資料4 資料5

(事務局)

- ・前回会議の意見をまとめ、湖南省産業振興ビジョンイメージ素案を作成。2019年度中には産業振興ビジョンを完成させたい。
- ・産業に従事する人材確保が難しいなかで、「1億総活躍社会+ α 」を構築する。「+ α 」の部分とは、外国人労働者等を指す。4月から「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が施行される。湖南省は多文化共生のまちであり、人口の5%が外国人。湖南省には湖南工業団地があり、ものづくりのまちでもある。人材を如何に活用していくかという課題が浮かび上がった。
- ・産業観光・工場見学という意見について。湖南省の観光入込客数は約600,000人。その内の約150,000人を十二坊温泉ゆららの来場者で占めている。第一次産業・第二次産業で稼いだ所得が地域外の第三次産業で流出している現状である。地域の中で如何に経済を循環させていくか、地域外からの流入を獲得していくかも課題の一つである。
- ・上記二点の課題解消のため、各部門が取り組む政策の方向性を提示。
 - 農商工+観光で取り組む地域資源の活用と創造
各産業がオール湖南として取り組んでゆく。
滋賀県の観光入込客数は約52,000,000人。湖南省の観光入込客数は県内19市町の中でも下位に位置している。地域資源を活用し、如何に交流人口・関係人口を増やしていくか。
 - 地域内企業の連携強化
湖南省には200haの工業用地をもつ、湖南工業団地が存在する。昭和の時代からも

のづくりのまちとして発展を続けてきた。企業の定着を図る施策が必要。

湖南工業団地協会会員 64 社、湖南省工業会会員 85 社、湖南省商工会 936 社。地域内企業の連携を如何に行っていくか。

○海外事業展開の支援や国際競争力の育成

マーケットの拡大、JETRO や国との連携。

○商社化における事業展開

ある企業から、繁忙期における人材派遣依頼が工業会に行われた事案がある。

企業の繁忙期・閑散期における人材の出向などの仕組み。労働力の融通。

○企業の進出や定着における規制緩和、インフラ整備

開発行為を原則行えない市街化調整区域でも開発が行えるような規制緩和。

企業の研究部門の誘致。

< 具体的事業例 >

● マッチング事業

技術革新など、関係機関によるローコストイノベーション。

産業観光・体験型観光の推進。一般観光客の受入体制整備。

多品種高ロットなどニーズ対応。時代とともに移りゆく顧客ニーズへの柔軟な対応。

販路開拓事業

● 農業戦略事業

みらい公園湖南活用と園芸作物の推進。ここぴあの収益力強化。HAT の役割。

付加価値作物

新規就農

農福連携

健康増進対策

● 企業誘致・定着施策事業

インフラ整備事業やコンパクトシティ構想。

都市計画マスタープランが来年度から見直される。

< 目標 >

(1) 「あるものいかし」における付加価値産業の創出

(2) 湖南省版「シュタットベルケ」の展開（エネルギーを含む人を動かすビジョン）

* シュタットベルケ *

ドイツにおいて電気・ガス・水道・交通サービスなどを提供する自治体出資の地域事業者のことを指す。多くの日本の自治体新電力が手本としているものであり、これを目指して新たな事業を計画する市町村も少なくない。

(3) 企業における商社化構想（中小企業における商社化とは、地域密着型と労働力集約事

業が考えられる。)

- ・ 湖南省に人が集まる仕組みを構築しなければならない。

課題

持続可能な産業において、労働生産人口や人が集まらなければ地域の活力が衰退する。

多様な消費者、取引先のニーズへの取り組み

交流人口、関係人口の増加

企業の定着、誘致における土地利用価値の向上

方向性

交流人口や関係人口や移住定住施策等の取り組み

相互技術協力・相互人材交流による湖南ブランドの確立

多品種、小ロット、グローバルな取り組みによる創業・第2創業

グローバルな人材を育む手法の確立

土地利用の規制緩和を実施できる手法の確立

- ・ どのような形で進行策を図っていくか。施策内容については、委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

(議長)

- ・ 事務局から説明のあった湖南省産業振興イメージ素案について意見を頂戴したい。

(委員)

- ・ 企業間の労働力の融通、商社化について、各企業の繁忙期・閑散期を調査する必要がある。また、部門別政策の方向案として「農商工+観光で取り組む地域資源の活用と創造」とあるが、「農商工」の前に「市」をつけて、【市農商工+観光で取り組む地域資源の活用と創造】としてはどうか。行政も連携に加わり牽引し、一つになって取り組んでいかないと難しいのではないか。

(委員)

- ・ 産業振興ビジョンには全産業を網羅した内容に。労働力の融通については、各々の企業で人材が余るようで余らない。慢性的に人手不足の企業も存在する。数人でも融通しあえる仕組みができればよい。また、滋賀県には高等専門学校がないので、若い人材が県外企業に就職する。規模の大きな話にはなるが、高専があれば若い人材が集まりやすくなるのではないか。

(委員)

・土地の規制緩和施策について、ぜひ前向きに進めていってもらいたい。

(委員)

・湖南省のシティープロモーションについて提案させてもらったことがあった。大きいものを作っても、それを持続させるのに多くの費用と時間が必要となる。小さく、システム的にできるものとして「副業」はどうか。時間が余っているときに、自分のやりたいことができるまち。それがボランティアではなく自分の収益につながるものが望ましい。湖南省に住んだら自分のやりたい時間にやりたいことができる、という仕組みである。地域に活気が出るし、労働力の融通にも繋がり得る。

(委員)

・時間の余っている若者が多いのか？

(委員)

・就業時間がきっちり定められている職場がほとんどである。時間が余っている時代にはなっていると思う。兼業ができない職場もあるが「副業」を押し出したプロモーションをしている自治体は、自分の知る限り国内には存在しない。

(委員)

・都会の若い人材の意識が変わってきている。フルタイムで働くより、そこに縛られたくないからあえて正社員として就職をせずに、派遣として週に三日だけ働くことが自分の幸せと感じる人が増えている。また、4月から働き方改革の一環で残業が制限される。時間が余る人たちが出てくる。同時に残業手当がつかなくなるから収入が減る人が出てくる。残業手当ありきで生活が成り立っている人たちもいる。そのような人たちを巻き込んだ施策が考えられると思う。派遣や夜勤の若者に対し、親の世代はあまり良いと思わない。様々な働き方があることを受け入れる素地・仕組みを湖南省が打ち立てられたら面白い。「市農商工」についてもとても面白いと思う。ポスターにするだけでも非常にインパクトある発信ができる。

(議長)

・湖南省版シュタットベルケについて、エネルギーではなく、人を動かす仕組みができればと考えている。そんなに難しい仕組みではないのかなと思う。

・「1億総活躍社会+α」について、滋賀県には日本語学校がない。北海道には公設の日本語学校があり、留学生がたくさん入学し、その地に就職する流れがある。人を呼び込み、受け入れる仕組みができています。

・湖南省のファン、サポーターになってくれる人を増やす施策も必要である。

・猫バスを何故観光に使わないのかと思ったことがある。うまく仕組みを作れば活用できるのではないか。

(委員)

・日本語学校の入学対象年齢は。

(議長)

・高校卒業生、大学卒業生がほとんどである。彼らは非常に優秀で熱心。私の勤める大学にも留学生がいるが、大学卒業後に滋賀県の企業に就職するケースは非常に少ない。県内の企業を知らないからである。

(委員)

・湖南省のサービス業に勤める人はほぼ日本人で構成されているのか。都会ではコンビニなどサービス業に勤めている外国人が多い。非常に丁寧に接客をしてくれる。

(委員)

・湖南省にはどのくらいの空き家があるのか。企業のバックアップも受けながら、そこに外国人留学生に入居してもらい、市内企業に勤めてもらえないか。

(委員)

・空き家を活用し外国人に住んでもらうという意見があったが、差別的な意味はなくとも、文化の違い等により周辺住民が受け入れることができず、市民から反発の声が挙がること懸念される。多文化共生のまちと言っているが、外国人や多文化を受け入れる環境を行政で整備する必要がある。

・製造業に勤める若者は多いのか。

(委員)

・製造業に就職する若い男性は多い。製造業に勤める家族や知り合いからの紹介や、勤務体系や休日が安定していると聞いて入社する人も多い。

(委員)

・市内で外国人向けシェアハウス事業を開始する。区長にも説明済である。市街化調整区域であっても、シェアハウスという形で月ごとに賃貸契約を結べば、アパートが建っているところであれば運営が可能。

(議長)

・外国人をうまくマッチングし、活用していくことが大事。

(委員)

・私が住む地域には、全国的にも珍しい地場産業がある。しかし、表に出にくい産業であるため、その存在を知らない人が多い。その地域にある大学の工学部の学生でもほとんど知らない。地域独自のモノづくりを後世につなげていくために、人材の確保が必要である。どのように人を産業に巻き込んでいくか。人を地域の中でどのように動かしていくか。我々が作ろうとしている産業振興ビジョンの鍵になると思う。

(委員)

・湖南省の学校に通う生徒は湖南省のことをよく知らない。教師もよくわかっていない。来年度から実施される「探求学習」の中で、湖南省について学ぶ機会を設けたい。この取組が、いずれ若者が地元に戻ってくるきっかけになれば良い。

(事務局)

・「ぜひ工場見学にきてほしい」と言っている市内企業もある。教育現場でぜひ連携頂ければと思う。

(委員)

・JR 草津線の利便性向上や沿線の活用もひとつある。

(委員)

・収入が少ない等の理由から、農業従事者は減ってきている。使っていない農地を活用するという声も挙がっているが、景観のバランスもあるので農地は農地で守っていききたい。

(議長)

・様々な意見を頂戴した。事務局で整理を願いたい。

②次年度の産業振興戦略推進会議（案）について 資料6

(事務局)

・資料6に基づき次年度の産業振興戦略推進会議（案）を説明。

(2) その他

・特になし。

5、閉会